



大阪府歯科保険医協会

## 2016年学校歯科治療調査報告概要

大阪府歯科保険医協会：政策部  
〒556-0021 大阪市浪速区幸町 1-2-33  
TEL:06-6568-7731 FAX:06-6568-0564

### 口腔崩壊の子ども189校で「いた」 その人数も明らかに

大阪府歯科保険医協会（以下、協会）が実施した2016年学校歯科治療調査で大阪府内公・私立小中高等学校189校で口腔崩壊の子どもたちが少なくとも663人いることが分かった。

今回の調査では、これまでの学校歯科検診を受けた「人数」、「要受診となった人数及び割合」「歯科受診率」や「口腔崩壊の有無」とともに、口腔崩壊を起している子どもの「人数」や「家庭状況」も尋ねた。

口腔崩壊を起している子どもたちの「家庭状況」では、「保護者の子の健康への理解不足」「ひとり親家庭」が45.7%と最も多く、次いで「経済的困難」が42.6%を占めるなど、一定の傾向が見られた。

口腔崩壊の子どもたちの家庭状況

	小学校		中学校		高等学校		全体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
口腔崩壊の児童・生徒がいる学校	109		43		36		188	
経済的困難	44	40.4%	20	46.5%	16	44.4%	80	42.6%
ひとり親家庭	52	47.7%	23	53.5%	11	30.6%	86	45.7%
共働き	30	27.5%	9	20.9%	10	27.8%	49	26.1%
保護者によるDV	4	3.7%	1	2.3%	4	11.1%	9	4.8%
保護者が子どもに無関心	25	22.9%	10	23.3%	6	16.7%	41	21.8%
保護者の心身が不安定	21	19.3%	7	16.3%	5	13.9%	33	17.6%
保護者の子の健康への理解不足	59	54.1%	16	37.2%	11	30.6%	86	45.7%
障がいがある児童・生徒	15	13.8%	7	16.3%	2	5.6%	24	12.8%
外国人(保護者)	10	9.2%	5	11.6%	2	5.6%	17	9.0%
その他	11	10.1%	8	18.6%	14	38.9%	33	17.6%

※割合は、口腔崩壊の子どもがいた学校数を母数として計算。

調査票は、大阪府内の公・私立小中高等学校1754校に送り、416校（回答率23.7%）の回答を得た。調査期間は、2016年11月22日～12月1日までの10日間。

私立小中高等学校を対象としたのは今回が初めて。

アンケート送付数と回答数及び回答率

		送付数	回答数	率
小学校	公立	995	215	21.6%
	私立	17	8	47.1%
	計	1012	223	22.0%
中学校	公立	473	116	24.5%
	私立	64	13	20.3%
	計	537	129	24.0%
高等学校	公立	159	41	25.8%
	私立	46	23	50.0%
	計	205	64	31.2%
全体の合計		1754	416	23.7%

## 結果の概要

小中高等学校								
	①学校歯科検診を受けた子ども数	②要受診と診断された子ども数	②／① (割合)	③歯科を受診した子ども数	③／② (割合)	④口腔崩壊の子どもがいた学校数	④／回答数 (割合)	口腔崩壊子ども数
公立	167,017	54,270	32.5%	19,741	36.4%	173	46.5%	597
私立	31,605	9,865	31.2%	2,510	25.4%	16	36.4%	66
計	198,622	64,135	32.3%	22,251	34.7%	189	45.4%	663

### 未受診が 65. 3 %

大阪府内の小中高等学校で 2015 年度の「学校歯科検診を受けた児童・生徒数」と、そのうち「要受診と診断された児童・生徒数」、要受診のうちで「歯科を受診した児童・生徒数」を尋ねた（上表）。

回答がした 416 校（小学校 223 校、中学校 129 校、高等学校 64 校）で学校歯科検診を受けた子どもたちは、198,622 人だった。その内、32.3%に当る 64,135 人が歯科医療機関の受診が必要と診断された。この内、34.7%に当る 22,251 人が歯科医療機関を受診した。未受診は 65.3%にのぼる。

歯科医療機関を受診した割合は、公立で 36.4%、私立で 25.4%だった。未受診率は、公立で 63.6%、私立で 74.6%と、私立のほうが高い。

### 口腔崩壊 45. 4 %が「いた」

「2016 年の学校歯科検診で、口腔内が崩壊状態（むし歯が 10 本以上ある、歯の根しか残っていないような未処置歯が何本もあるなど、咀嚼が困難な状態）と見られる児童・生徒がいましたか」と尋ねた。45.4%の学校が口腔崩壊の児童・生徒が「いた」と回答した。

公立で 46.5%、私立で 36.4%の学校に口腔崩壊児童・生徒がいることが分かった。

口腔崩壊児童・生徒が「いる」と回答した学校には、その人数も尋ねた。口腔崩壊児童・生徒が「いた」189 校で、口腔崩壊の子どもたちが 663 人いた。

### 府内で推計 2700 人も子どもたちが口腔崩壊に

口腔崩壊の人数の内訳は、小学校では公立で 339 人、私立で 2 人、中学校では公立で 113 人、私立で 1 人、高等学校では公立で 145 人、私立で 63 人いた。

この回答から口腔崩壊で苦しんでいる子どもたちが、府内で 2700 人以上存在していることが推計される。

推計の計算式（各公立・私立小中高等学校ごとに計算、端数は四捨五入）

$$\boxed{\text{口腔崩壊人数}} \div \boxed{\text{回答のあった学校数}} \times \boxed{\text{府内学校数}} = \boxed{\text{推計口腔崩壊人数}}$$

詳細は、大阪府歯科保険医協会：政策部（06-6568-7731）までお問い合わせください。